

公民連携推進全国首長フォーラム

公民連携推進全国首長フォーラムでは、令和5年11月28日（火）に、会員を対象に勉強会をオンラインで開催しました。

今回は全国から約80名の皆様にご参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。

■開会挨拶 会長 野田 義和（東大阪市長）

■公民連携に関する講演

(1) 官民共創の舞台裏
～動き出した自治体と企業～

(2) これからの窓口改革/行政運営の在り方
～広域連携型行政運営を目指して～

■閉会挨拶 幹事 辻 宏康（和泉市長）



官民共創の舞台裏～動き出した自治体と企業～

株式会社ソーシャル・エクス
代表取締役 伊佐治 幸泰 氏

行政・民間企業それぞれのキャリアを有する人材が所属する強みを生かし、自治体の課題を自治体の予算で解決するのではなく、企業の新規事業として企業の予算による課題の解決を進めています。

企業からの提案を募集するも応募のない自治体に対して課題の言語化を支援した結果、複数の企業より事業提案のあった事例を解説。また、事例を踏まえた自治体、企業に対する支援や人材育成についてご講演いただきました。

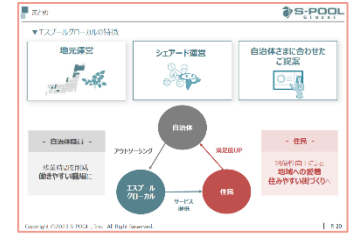
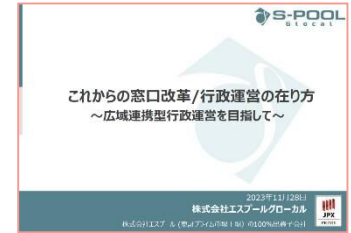


これからの窓口改革/行政運営の在り方 ～広域連携型行政運営を目指して～

株式会社エスプールグローバル
社長 執行役員 佐久間 雄介 氏

人材採用力とデジタルの活用という自社の強みを生かしたBPO事業を通じて、地域課題を地域で解決できるよう取り組みを進めています。

今回の講演では、オンライン窓口サービス導入による職員の負担軽減や高齢者向けのデジタルデバインド対策についてご解説いただきました。また、全国で導入されたBPOサービスや広域BPOセンターについてもご紹介いただきました。



閉会挨拶

閉会にあたり、辻宏康幹事（和泉市長）より「最新事例を交えながらご講演いただき、参加者にとっても刺激になったと思う。事例研究を通して公民連携のノウハウや知識を深める場として行政運営の一助になれば幸いです。」とお話しいただきました。

